

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域を踏まえた多様な活動を取り入れ、活動内容が固定化しないよう工夫した療育プログラムになっている。	・曜日によっても固定化しない活動配置になるように配慮している。 ・季節に合わせた活動を取り入れることで四季を感じられるよう工夫している。 ・外部講師(ZUMBA)を招き、普段体験できない活動を取り入れている。	・運動面以外の分野でも外部講師や、専門的な知識を持ったスタッフにより新しい経験、体験ができるよう努めていく。 ・引き続き、保護者様や利用者様のニーズを聞き取り、活動に取り入れていく。
2	・連絡帳等を活用し、ご利用者様の様子をその都度保護者様と共有することができる。	・連絡帳と合わせて対面でもその日の様子を共有している。 ・SNSにてプライバシーに配慮しながら、活動の様子を発信している。	・ご家庭等でのご利用者様の様子も共有していただくことで、共通化した支援が行えるように努めていく。 ・SNSを通じて活動の様子を引き続き発信していく。
3	・児童が安全に安心して過ごせる環境整備。	・療育前後に安全確認を行い、危険箇所の早期発見、事故防止に繋げている。 ・ヒヤリハット事例を職員間で共有し、事故防止に努めている。	・定期的な安全点検、危険箇所の発見を継続的に行っていく。 ・活動等で安全に関するルール理解を促すことで、児童自身も安全意識が向上するような支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常勤職員を含めた情報共有や研修参加体制の充実化。	・勤務時間や勤務日数に相違があるため一斉の研修やミーティングの時間確保が難しい。 ・申し送りノートを活用しているものの、全員が確実に確認していない場合も考えられる。	・研修資料の配布や動画視聴など各々の勤務時間内で行える内容を取り入れる。 ・研修記録を全職員に共有できるような体制作りを行う。
2	・事故防止、緊急対応、感染症対応などのマニュアル整備、訓練実施についての周知が行き届いていない。	・避難訓練等の実施状況をSNS等でも発信しているが、周知しきれていない。 ・契約時に説明を行っているが、説明不足で事業所の安全管理体制において理解促進が十分でない場合がある。	・おたよりや対面、SNSにて訓練実施状況を周知していく。 ・契約時のマニュアル類の説明時には、実際にマニュアルを使うなどして詳細を説明する。
3	・職員配置数において、より余裕を持った支援体制の確保が望まれる。	・個別的な配慮や見守りを必要とする児童への対応に職員が専任となる場面が多く、状況によっては集団全体への支援体制に余裕が持ちにくいことがある。	・児童の特性や支援内容に応じて職員配置の増員をするなど安全に療育活動を行える体制を整えていく。